



市内では年間約1万件、1日当たり約30件
もの犯罪が発生しています

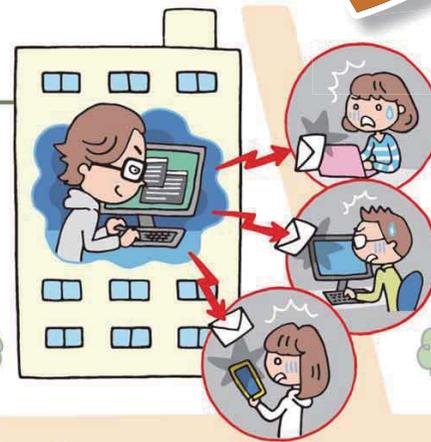
※数字は全て北海道警察が把握した認知件数(平成30年)

侵入窃盗
発生件数: 647件



サイバー犯罪
相談件数: 3,992件

※全道の相談受理件数。このうちの3分の1以上が札幌市



穏やかな暮らしをこよなく愛する男、その名も平和 好男。
ある日、彼を狙った事件が次々と発生する!果たして好男は迫りくる魔の手はどう立ち向かうのか――。
1件当たりの被害額が大きい「振り込め詐欺」、発生件数が多い「侵入窃盗・自転車窃盗」、近年多数の相談が寄せられている「サイバー犯罪」の手法や対策を、好男と一緒に見ていこう!

問い合わせ 区政課 ☎211-2252

自転車窃盗
発生件数: 2,406件



振り込め詐欺

発生件数: 69件
被害総額: 約1億6,700万円



平和 好男

顔は怖いが実は気が弱い。平和な生活が当たり前となっており、「自分は犯罪の被害に遭うわけがない」と考えている。



クイズを交えて
最近の事例と対策を
解説します!

防犯を担当する
区政課 西中職員

犯罪被害を減らすため、地域に向向いて効果的な防犯の取り組みを伝えていくほか、市民の防犯活動も支援している。

事例2 架空請求詐欺

「有料動画の未納料金が発生しています。連絡がない場合、法的手続きに移行します。●●(株)受付センター03-xxxx-x-xxxx」と書かれた身に覚えのないメールが届いた。



■架空請求詐欺で実際に使われたメール



問題 好男はどうしたらよいでしょう?

- ① 記載の電話番号に連絡せず、警察に相談する
- ② 内容を確認するために、記載の電話番号に連絡する

答えは **① 身に覚えのないメールや文書は詐欺を疑い、連絡しない!**



記載の電話番号にかけると、弁護士のふりをした犯人から解決のための手数料としてお金を要求されます。振り込み詐欺は高齢者が被害に遭うと思われがちですが、昨年の被害者は約半数が65歳以下の方なので、若い世代の方も注意が必要です。身に覚えのないメールや文書が届いたら、すぐに相談してください。

ほかにもこんなキーワードに注意

- ・「宅配便で現金を送ってほしい」
- ・「プリペイドカードを購入し、カードの番号を教えてください」
- ・「名義を貸すだけで、もうかる」



これらも全て詐欺の手口!

事例3 架空請求詐欺

「元号が『平成』から変わるため、不正操作防止用キャッシュカードへの変更手続きが必要」という通知が届き、キャッシュカードの送付を要求される。



事例4 還付金詐欺

市職員を名乗る者から「保険料の過払い金が戻ります」と連絡があり、ATMに行くよう誘導され、犯人の指示に従って操作しているうちに、逆にお金を振り込んでしまう。



事例5 融資保証金詐欺

ファクスやインターネットで「簡単審査・低金利」「誰でも融資」などとうたって融資を申し込ませ、保証金と称してお金を要求される。



被害防止のポイント 慌てず家族、友人、警察に相談

実際に振り込み詐欺の被害に遭った方の多くが「自分はだまされるはずがない」と考えていました。「関係ない」と思い込まずに、詐欺の手口を知っておくとともに、「何かおかしい」「身に覚えがない」場合は、すぐに家族や警察などへ相談することが大切です。

相談はこちら! **警察相談ダイヤル**
☎ #9110 (年中無休24時間)



振り込み詐欺



振り込み詐欺の手口

- オレオレ詐欺**
親族などを装いお金を要求
- 架空請求詐欺**
ありもしない訴訟などのトラブル解決を名目にお金をだまし取る
- 還付金詐欺**
医療費の還付などを名目にATMへ誘い出し、犯人の口座に現金を振り込ませる
- 融資保証金詐欺**
融資のための保証金などを名目としてお金を請求

電話やはがき、メール、ファクスを利用して、他人名義の口座に振り込ませる、郵送させるなどの方法でお金をだまし取ります。

事例1 オレオレ詐欺

ある日、好男のもとに銀行員を名乗る者から「あなたの口座が不正に使われています。被害の拡大を防ぐために、これからキャッシュカードの確認に自宅へ伺います」と電話があった。

問題 好男はどうしたらよいでしょう?

- ① これ以上、不正に利用されないために家へ確認に来てもらう
- ② 電話を切り、警察に相談する



答えは **② 金融機関の職員や弁護士などを名乗っていても、カードや通帳を渡さない、暗証番号を教えない!**

犯人がなりすますのは息子や孫だけではなく、金融機関の職員や弁護士などさまざま。どんな職業を名乗ったとしても、カードや通帳を他人に渡したり、暗証番号を教えたりしてはいけません! 犯人と直接話をしないために、あらかじめ留守番電話に設定しておくことも、詐欺の被害を防ぐのに効果的です。



①を選んだ場合、犯人が家に来てしまい…!



「この封筒にカードを入れ、再発行手続きが終わるまで使わないで」といわれ、封筒の封印を求められる



印鑑を取りに行っている際に、キャッシュカードを偽のカードにすり替えられ、お金が引き出される

活用しよう 詐欺の手口や対策を詳しく解説 出前講座

テーマ①子どもの防犯教室、②振り込み詐欺被害に遭わないために、③防犯カメラを生かしたまちづくり、④女性の犯罪被害防止
対象・費用10人以上の団体。無料。会場などの費用は主催者が負担
申込①~④からテーマを選び、事前に区政課☎211-2252に電話の上、区役所(1ページ)などで配布中の申込書を、希望日の1カ月前までに提出



サイバー犯罪

コンピューター技術や電気通信技術を悪用した犯罪をいいます。

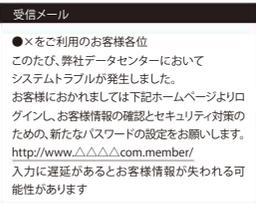


サイバー犯罪の主な手口

- 不正アクセス**
他人のID、パスワードを無断で使用
- フィッシング**
偽のサイトに誘導し、クレジットカードの番号やID、パスワードなどを入力させて情報を盗む

事例1

好男が利用したことのあるインターネットショッピングサイトをかたった送信元からメールが届き、記載しているホームページに進み、パスワードを変更するよう求められた。



事件発生!!



問題 好男はどうしたらよいでしょう?

- 1 メール本文に記載しているホームページへ進みパスワードを変更する
- 2 実際の企業などにメールの送信事実を直接確認する

答えは

2 大手企業をかたる巧妙な文面のメールに注意



メールに書かれているホームページを開くと、本物そっくりの偽サイトに繋がってしまいます。そこでIDやパスワードなどの個人情報を入力すると、不正アクセスされて勝手に品物を購入されるなどの被害に。取引先や有名な企業をかたる事例も多いので注意が必要です。

これらも全てサイバー犯罪の手口!



事例2

インターネット使用中に、偽のウイルス感染を警告する画面が出現。画面に記載されている電話番号へ連絡すると、解決するためのお金を要求される。

事例3

偽の配送業者から「お荷物のお届けにありがとうございましたがないため持ち帰りました」とメールが届き、記載のホームページを開くとウイルスに感染。



被害防止のポイント

不用意にホームページや添付ファイルを開かない

インターネットを利用する方であれば誰でも標的となるサイバー犯罪。「添付ファイルは安易に開かない」「IDとパスワードは他人に教えない」「個人情報の入力の判断は慎重に」といった対策を心掛けましょう。

日ごろからの備えが被害を防ぐ第一歩

これまで見てきた犯罪は誰がいつ被害に遭ってもおかしくありません。「自分は大丈夫」と油断せずに、自分の身や財産を守るためにできることを、今日から始めてみませんか。



活用しよう 防犯対策や事件の情報を無料配信 ほとくん防犯メール

各地域を管轄する警察署を選ぶと、その地域で起こった事件の情報などがメールで届きます。

登録はこちらから
ほとくん防犯メール 検索



侵入窃盗

・自転車窃盗

他人のお金や品物を盗む窃盗。そのうち特に多いのが、住居などの建物に入り込む侵入窃盗と、自転車窃盗です。



侵入窃盗の主な手口

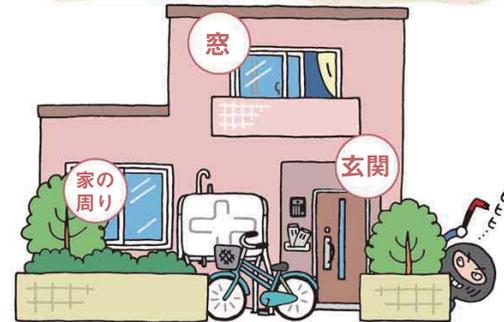
- 空き巣**
留守宅を狙う
- 忍込み**
夜間の就寝時間帯に侵入
- 居空き**
食事中やテレビを見ている間などに家中に侵入

事例

旅行に出掛けた好男。それを見計らったかのように、好男の家を泥棒が狙っている。

問題

好男の家やその周りには狙われやすい箇所があります。「窓」「玄関」「家の周り」から1つずつチェックしてみましょう。



答えは、開いたままの2階の窓、新聞がたまった郵便受け、死角をつくる植木

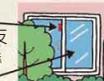


常に施錠することはもちろん、玄関や窓は鍵を2つ以上付けると効果的です。人目を遮る死角がある家や郵便物がたまり留守に見える家は狙われやすいので、家の周りの見通しを良くする、長期不在時は新聞の配達を止めるなどの対策を。マンションでも、ベランダや、住人に紛れて共同玄関から侵入するので油断は禁物です。

防犯用品も活用しよう!

センサーライト
ドアや窓の付近に設置。人の動きを感じ、自動で点灯

警報装置
窓の開閉や振動に反応し大きな音で威嚇



防犯フィルム
ガラスに貼り付けて使用。割れにくくなり、侵入に時間がかかる

自転車の盗難にも要注意

鍵を掛けていても被害に遭うことが多い自転車。自宅でも鍵を複数掛け、防犯登録ステッカーを必ず貼りましょう。



被害防止のポイント

「光」「音」「侵入に手間がかかる対策」などで泥棒を寄せ付けない

侵入に5分かかると約7割の泥棒が諦めるといわれています。被害を防ぐには、わずかな時間の外出でも鍵を掛けることを徹底し、防犯用品も活用しながら「泥棒に侵入をためらわせる」「侵入に時間をかけさせる」ことが有効です。

さまざまな取り組みが地域でも 町内会や自治会の防犯活動

- ・青色回転車を使った登下校、夜間パトロール、振り込め詐欺防止のためATM設置店舗を巡回
- ・ペットの散歩時に地域を見回る「わんわんパトロール」 など



▲防犯を呼び掛ける活動

活用しよう 地域の安全と安心をお手伝い 防犯カメラ設置費用を補助

町内会や自治会に、防犯カメラの設置費用を助成しています。設置には、地域の合意や映り込む範囲にお住まいの方からの同意、市への事前申請が必要です。詳しくは区政課 ☎211-2252にお問い合わせを。